

NEU

MPS-10

MPS-12



製品の特徴

このたびは、NEU MPS-10 / MPS-12 をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

MPS-10 / MPS-12 は、ポータブル PA に最適な 10/12 インチスピーカーです。

イベントやパーティでの司会・ライブパフォーマンス・カラオケ・講演会・会議など、さまざまな用途にご利用頂くことができます。

この取扱説明書をよくご覧になってからご使用下さい。

製品内容

・スピーカー 2本・スピーカーケーブル 5m 2本(1/4フォン・1/4フォン)

オプション

別売りオプション設置例 / NEU MPX-9st DSP / Tripop STS-50



仕様

MPS-10

エンクロージャー	バスレフ型
スピーカーユニット LF HF	LF : 10 インチウーファー HF : 1 インチドライバー
許容入力	100w RMS/ 160w PGM
再生周波数帯域	45Hz - 20kHz
インピーダンス	8ohm
出力音圧レベル	94 dB ± 2 1W/m
クロスオーバー周波数	4kHz
入力端子	フォンジャック
外形寸法	W380 H508 D250 mm
重量	8kg

MPS-12

エンクロージャー	バスレフ型
スピーカーユニット	LF : 12 インチウーファー HF : 1 インチドライバー
許容入力	120w RMS/ 190w PGM
再生周波数帯域	45Hz - 20kHz
インピーダンス	8ohm
出力音圧レベル	92 dB ± 2 1W/m
クロスオーバー周波数	4kHz
入力端子	フォンジャック
外形寸法	W435 H560 D300 mm
重量	13kg

安全上のご注意



安全にお使い頂くため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
またお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

設置されるとき

●この機器に水が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪時や海辺・水辺での使用は特にご注意ください。

●この機器を分解したり改造しないでください。

●修理や部品の交換などは、お買い上げの販売店もしくは指定のサービス以外では行わないでください

●楽器演奏や公演のための器具です。一般オーディオ製品として使用する製品ではありません。

注意

1. 使用について

●雨や霧、埃を避けてご使用下さい。設置の際は水平で安定した地面に設置し、転倒しないよう注意して下さい。また振動や衝撃を与えないで下さい。

●周囲の環境に配慮した音量でご利用下さい。

●この機器と電源アダプターは、風通しの良い、通気のある場所に設置してください。

●電源アダプターを機械やコンセントに接続するときは、ケーブルではなくボディやプラグを持ってください。

●演奏以外の場合と長時間使用しない場合は、電源アダプターをコンセントからは

ずしてください。

●この機器の上に乗ったり、重いモノを置かないようにしてください。

●濡れた状態で、電源アダプターなどにさわらないでください。

●機器を移動する場合は、電源アダプターをコンセントからはずし、他機器との接続をはずしてください。

●落雷のおそれのある場合は、電源アダプターをコンセントからはずしてください。

●日本国内 100V 仕様です。ステップアップ電源などと共に使用した場合、機械に大きなダメージを与える場合があります。

●スピーカーへの過大な入力、故障の原因になります。許容入力以上のパワーで本機を駆動することはおやめください。また、次のような信号、ノイズに対しては充分ご注意ください。

・マイクロフォン使用時のハウリング音・電子楽器や発振器の連続音・異常に歪んだ連続信号・電源投入状態でのミキサー等機器の接続、取り外しによるショック音

●接続は各機器の電源スイッチをオフにしてから行ってください。

●別売りスピーカースタンドをご使用頂けます。スタンドを使用する場合には、転倒およびスピーカーシステムの落下を防止するために、以下のことにご注意ください。

・スタンドの足は最大限に開いた状態でご使用下さい・1台のスタンドに2台以上のスピーカーを設置しないでください・固定ネジは確実に締めてください・移動および高さ調整は、スタンドからスピーカーを取り外した状態で行ってください

基本的な使用方法

1- ミキサーとスピーカーを、スピーカーケーブルで接続します。

(MPS-10 スピーカーの3つの入力端子のうち1つに接続します。)

2- ミキサーの電源がOFFであることを確認し、電源ケーブルを接続します。(アース付コンセントになっています。アースは必ず接地させてください。)

3- マイクや楽器を接続します。(マイクは必ず Ch1 ~ 4 の XLR 端子に接続してください。)*マイクをフォーン端子(LINE)に接続した場合、「マイクの音が小さい」「ノイズが出る」などの症状が発生します。

4- すべてのチャンネルのボリューム、マスターボリュームが0であることを確認し、電源をONにします。*ボリュームが0でない場合、電源投入時のノイズなどで機器の破損につながる場合があります。

5- 各チャンネルのゲイン、ボリューム、マスターボリュームで音量を調節します。(小さい音量から徐々にボリュームを上げてください。PEAK LEDを参考に決定します)

6- 使用を終える場合は、まずすべてのボリュームを0にし、電源をOFFにしてください。ケーブルや機器を取り外します。

トラブルシューティング

電源がONにならない

- ・電源ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ヒューズが切れていませんか？

音が出ない

- ・マスターボリュームが0になっていませんか？
- ・電源がONになっていますか？
- ・ケーブルが破損・断線していませんか？

音が小さい

- ・マイクをLINE端子に接続していませんか？

音が割れる、ひずむ

- ・ボリュームが大きすぎませんか？
- ・楽器等をMIC端子に接続していませんか？
- ・楽器やデッキのボリュームが大きすぎませんか？

ご使用にあたって

■各接続はしっかりとプラグを差し込んでください。

■電源をON/OFFする時は必ずマスターボリュームを0にしてください。過大な入力や突発的な音などは機器を破損する場合があります。

■ミキサー部は熱源から離し、通気の良い安定した場所に設置してください。

■保管時は、湿気やほこりを避け、通気の良い場所で保管してください。

ハウリングについて

ハウリングは、スピーカーからの出力音をマイクや楽器が集音することによっておこります。

・イコライザーで特定の周波数を抑える。

・スピーカーとマイク/楽器の位置関係を変える。

・ボリュームを下げる。

などの対処法があります。

ハウリングは機器や人体に深刻なダメージを与えることがあります。ハウリングは起こった場合は、すみやかに対処するようにしてください。

この取扱説明書について

IDC コーポレーション有限公司が制作しています。内容に関する問い合わせは、下記まで。

IDC コーポレーション有限公司 〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24

製品の機能は、改良のため変更されている場合があります。そのため、技術的なデータおよび製品の図面・写真が実際と異なる場合があります。

本書に記載の商品名等は、各社の商標または登録商標です。